

新見沼大橋有料道路

新見沼大橋有料道路の概要

越谷市から入間市に至る国道 463 号は県南地域を東西に結ぶ重要な幹線道路です。

このうち、国道 17 号から国道 4 号までの間は慢性的な渋滞が発生していました。この渋滞を解消するため、新見沼大橋有料道路はバイパス道路として整備しました。また、東北縦貫自動車道浦和 IC へ接続する道路としても重要な役割を果たしています。

この道路の周辺は、首都圏の貴重な緑地空間である「見沼たんぼ」を横断することから、設計に当たっては自然景観との調和や生態系の保全に配慮しています。



路線名	一般国道 463 号
区間	さいたま市芝原 3 丁目から さいたま市大字大崎まで
延長	1.4km
道路の区分	第 3 種 第 2 級
車道幅員	3.25m × 4 車線
設計速度	60km/h
工事期間	平成 4 年 12 月 1 日から 平成 8 年 11 月 27 日まで
開通年月日	平成 8 年 11 月 28 日
事業費	108 億円



見沼たんぼ

見沼たんぼは、東京都心から 20~30km 圏内に位置しており、約 1,260ha という広大な面積を持つ貴重な大規模緑地空間。たんぼや畑、雑木林、河川や見沼代用水によってつくられる田園風景と、生きものを育む豊かな自然が現在も残されています。



琦玉スタジアム 2002

観客席 63,700 のアジア最大級・日本で最大のサッカー専用スタジアム。天然芝のサッカー場。浦和レッドダイヤモンズ（浦和レッズ）のホームスタジアムで、浦和レッズの試合にはスタンドは赤いシャツで埋まります。



大崎公園・動物園

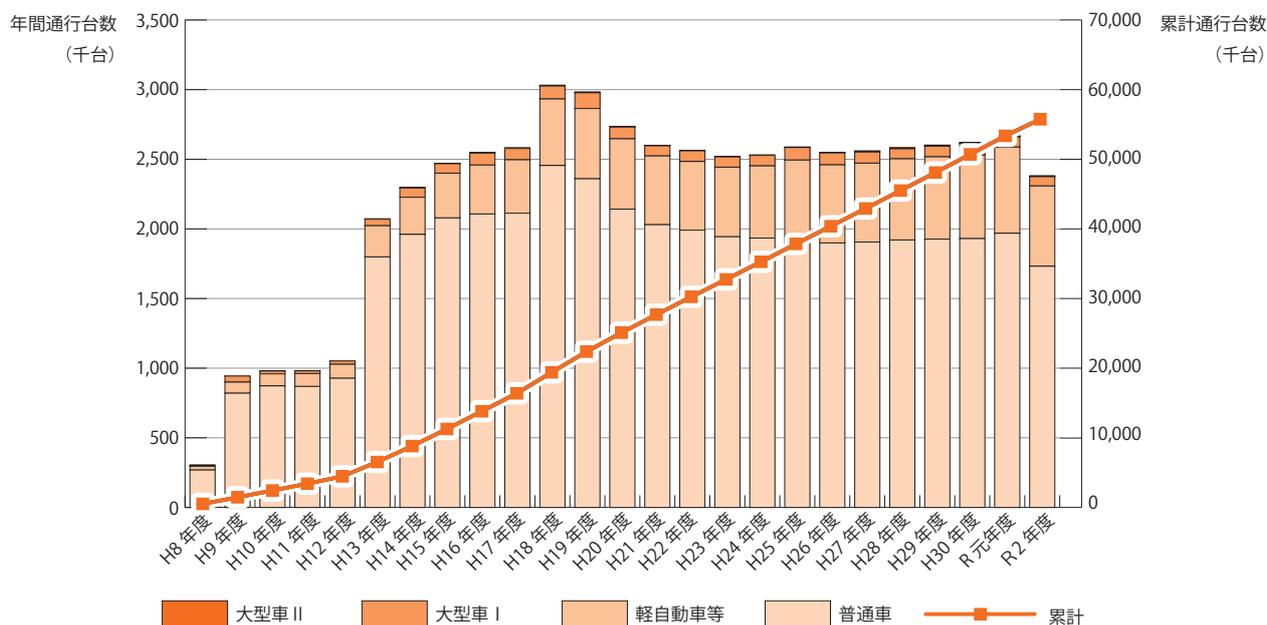
(提供：さいたま観光国際協会)

児童の遠足利用も多い大崎公園は、約 38,000㎡の敷地に、芝生の広場、子供動物公園、花時計、園芸植物園などがあり、一年を通して家族連れで楽しめる公園です。また、温水プールやサウナもある入浴施設「見沼ヘルシーランド」も隣接しています。

道路ネットワーク（開通前・開通後）の比較



利用状況の推移グラフ



新見沼大橋有料道路は平成 8 年（1996 年）11 月に完成しました。2 年目以降年間約 100 万台の交通量となり、徐々に交通量は増えて、平成 13 年度（2001 年度）には年間 200 万台に達しました。その後も交通量は増加を続け、平成 15 年度（2003 年度）から令和元年度（2019 年度）までは約 250 万台～300 万台を記録しています（最大は平成 18 年度（2006 年度）の 303 万台）。令和 2 年度（2020 年度）までの累計台数は 5500 万台に達しました（いずれも「軽車両」を除く）。



開通記念式典：平成 8 年 11 月 28 日

有料道路なのになぜ？交通系電子マネー使えます。

新見沼大橋有料道路は平成 21 年に全国有料道路で初めて交通系電子マネー決済もご利用いただけるようになりました。現在は、三浦縦貫道路（神奈川）や皆野寄居有料道路（埼玉）にも導入されており、新見沼大橋有料道路はいち早くキャッシュレス決済に対応したモデルケースとなっています。

では、有料道路なのになぜ交通系電子マネーなのでしょう？

道路のキャッシュレス決済として ETC が広く利用されています。しかし、高速道路で使用されている ETC は非常に高額な設備であるため、その導入と維持管理費用を確保するために通行料金の値上げや有料期間の延長などが必要となり、利用者の方々へ大きなご負担をいただくこととなります。

そこで、新見沼大橋有料道路では、利用者の方々へ追加のご負担が無く、設備が比較的安価な交通系電子マネーを導入し、利用者からのキャッシュレス決済というニーズに対応しました。感染症等によるライフスタイルの変化に伴うキャッシュレス決済の普及に伴い、新見沼大橋では電子マネー決済の利用が加速しています。